

令和7年12月8日(月)



ここ数日の朝の冷え込みは冬本番を感じさせるものがあります。先週、見事な黄葉を見せてくれたイチョウもあっという間に落葉してしまい、すっかり冬の装いです。今朝も野球部の生徒たちが、せっせと落ち葉掃きを行ってくれました。残るはケヤキだけです。本校のケヤキは大樹なので、落ち葉も大量です。先週の記事で、イチョウの葉は肥料にしにくいという話を掲載しましたが、ケヤキの葉は腐葉土として肥料にすることができます。ふじみ野市や三芳町の農家さんは、江戸時代の地割という土地区画の際に、住居の周りにケヤキを植えて、落ち葉を腐葉土にして畑に蒔く循環型農法を続けてきました。また、ケヤキは大きく枝を広げるので、夏は木陰を作り涼しく住まうことができたと言われていました。ケヤキとともによく植えられていたのは、竹です。こちらは、カゴなどの生活用具を作る材料として重宝されていました。



保健室前の掲示板は、健康安全に関する情報提供や啓発の場として保健教育の重要な発信源です。季節ごとにリニューアルしますが、先日、感染予防対策の掲示になりました。その名も「感染予防戦隊マモルンジャー」です。7人のマモルンジャーには、楽しいネーミングと役割が与えられています。マスクレッドは、ウイルスをブロックします。うがいブルーは、ウイルスの侵入を防ぎます。換気ホワイトは、室内の空気を清浄します。栄養オレンジは、免疫力を高めます。お休みグリーンは、疲れを翌日に持ち越しません。消毒ブラックは、自身と環境を清潔にします。手洗いピンクは、ウイルスを洗い流します。インフルエンザをはじめ、様々なウイルスが活発になる季節ですので、一人一人が感染予防対策を確実に実践していきましょう。



2年生の音楽は鑑賞の授業でした。教材は、世界の民族音楽です。フラメンコ（スペイン）、ブルガリアの女性合唱（ブルガリア）、グリオ（セネガル）、京劇（中国）の4つを聞き比べます。私が音楽室に入ったときは、ちょうどブルガリアの女性合唱の動画が流れているところでした。色鮮やかな民族衣装を纏った女性たちが、独特な発声で歌っていました。30年くらい前に初めてブルガリアの女性合唱（ブルガリアン・ヴォイス）を耳にしたとき、地声による独特のこぶし回しと不協和音で響くハーモニーに衝撃を受けました。あの力強い歌声に魅了され、しばらくの間、通勤の車の中で流していたことを思い出しました。

